

令和5年度2月号 [2月15日(発行)]



東風だより

川口市立東中学校
川口市東本郷2-20-47番地
TEL 048-281-4065
特別支援学級 285-2423
さわやか相談室 281-4627
<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/higashi-j/>

目標の先

校長 柳田 勇

暦の上では立春を迎えました。しかし、先日の降雪や季節外れの暖かな陽気など、寒暖差の大きい日々でございますが、保護者・地域の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。また、2学年の保護者様には、積雪により校外学習を中止させていただきましたことを御理解いただけますと幸いです。

さて、来週、公立高校の受検が予定されております。すでに自分の進路を決定した3年生もおりますが、多くの生徒が受検を控えており、学習に励んでおります。また、1・2年生にも3年生の今の状況を伝えており、少しでも自分の進路を意識してもらえればと思っております。3年生には、努力の成果を存分に発揮してくれることを願うばかりです。

この受検の時期を迎えますと、私にはある出来事が思い出されます。私はある附属中学校の教諭をしていた時期がございます。そのため、受検を実施する側の立場で受検に係ることもありました。その時の経験です。合格発表当日、結果を見に来た子が掲示板の前から動きません。私は合格発表を担当しており、その場で仕事をしておりました。「不合格で、ショックを受けているのだろう」と思い、自分の仕事を進めていました。しばらくすると、その子の保護者があとから駆け寄ってきました。どうやらその子は合格しており、受かった喜びはあるものの、今までの友だちと違う学校になることへの現実を受け入れられなかったようです。その子は、初めて今までとは違う世界に飛び込むことに、大きな不安を抱いき、様々なことに葛藤していたようです。その後、その子が入学したかどうかは覚えていません。

中学校卒業後の進路については、多くの場合、通過点の一つです。私たち大人はそのことをよく理解していることと存じます。しかし、受検を終えた生徒たちの中には「受検がゴール」で、目標に対する結果だけに捉われてしまう生徒もいます。また、1・2年生にしてみれば、進路=受検と考えているかもしれません。けれど、目標の先こそが大切なことは言うまでもありません。

義務教育とは違い、それぞれの生徒が選択する進路先には、同じ志を持つ者が集まり、新たな生活をスタートさせていきます。新たな生活は、期待と不安だらけの日々で、時には、今までの生活の方がよく思ってしまうこともあるかもしれません。

しかし、大切なことは、自分が目指した理由を思い出し、できることをしっかりやってみようを決断することがではないかと思えます。進路選択のために、悩み・努力した日々を思い出し、新たな一步を踏み出す勇気を持つことこそ、目標の先への扉を開くこととなります。そして、その勇気には、保護者の皆様の支えが必要かと存じます。保護者・地域の皆様には、いつまでも生徒を励まし続けるサポーターでいていただけたらと存じます。

さあ、来週の受検をそれぞれの立場で見守りましょう。目標の先まで、あと少しです。